答昭和二十六年から数次

にわたつて交渉した、

当

〇%という驚くべき数字

罹病者数は全市民の八

答

時の医師会長江渡哲哉氏

で、当時町立病院の設備

町民の福祉のた

見られるそしてこれらの 医療を受けているものと でこれらの中の八〇%が

医療機関利用状況は七〇

が悪いというので断わら の都合もあつたが支払い いと願つたが、町の財政 国保契約をしてもらいた め何とか大きな見地から 会との契約交渉の経過に

医療を受けている現在数

市民の罹病者数と実際

先づ過去における医師

国民健康保険患者の診療契約について、市内開業医の市に対す

現段階

•

市

病の増强が急務

場

交通機関が整備されれば、

よう。あれに設備が整い、

十和田ほどではないにして プラスするものなら、これ う話も聞かないし、そうい

の利益になるもの、市政にて一向にモデル化したと

来ませんが、少くとも市民

ん新聞でも書かれたが、さ

みであつた、その后ずいぶ 筈だ。モデル田園都市は莫の建設というのが、ふれこ は外崎市長の看板ではない

つもりだ。羊頭く肉(狗肉)長再選への途であることを

トクと頭に置かれたい

の建設というのが、ふれこたつては、モデル田園都市

所川原が市制を布くにあ

るが、一体これはどうする

羊頭

狗肉

か農業センター

としても無関心ではあり得 つたわけですが、私共市民 に大きなものがあるところ 行政に期待するものが非常

とにかかわらず、本問題の したがつて好むと好まざる これからの市の観光

つていた矢先の騒ぎです、

へ、この木材問題が持ち上

る働きかけが、市民の話題となつているが、この問題の真相と

市立病院の経営上の問題、これにからまる市民の負担増(増税)な

どについて、市厚生課保健担当の島谷課長補佐に聞いて見た

八雲から視察団

驚く

市の発展

るのには驚く、われくしもないが活気に満ちてい

いる際、黒字経営で著しい完全実施の機運が高まつて

Ŧį.

市改听で一般状況の

長が就任してから現在の 拡充に乗り出し、外崎市 いうので町立病院の強化 は町民医療の大問題だと れている、そこでこれで

問

| 開業医の診療に対する

答

つまりそこが問題のポ

発展するのか

額の二千五百万円になる 市が給付する額はその半 間五千万円に上るから、 業医ということになる、 %が市立病院、残りが開

療契約すれば増税問題にながら、一般開業医と診

問

なぜ国保税を納めてい

担上の問題である

ては問題がある、という

施設の大部分が出来上つ

答

請求があれば給付して

般市民の方に理解して

イントと言えるだらう

ただかねばならないのも

議所でも商工業施策につい を視察し、五所川原商工会

立病院視察

各地から続々

等一行七名は二月七日来町保険課長横山不二夫氏任委員長盛田信一氏、同

種々事情の説明を受けた

小 野

氏の

市街地はそれほど大きく|最近全国的に国民健康保険

商工行政等について説明を

受けたのち、

市内の商店街

あった

いに啓蒙されるところが

県内外から二つの病院視察

団が来市している

△上北郡七戸町職会職長山

本正治氏、同教育民生常

月十日来五、市役所で一般

からなる商工視察団が二

た。私共の町造りにも大 いるが、二月に入つてから大きいのに今更驚かされ いての文書照会が殺倒して つたのだが、その影響の注目を集め、運営状況につ 変化しているかを見たか、川原市立病院は、各方面の は博覧会后の市街がどう躍進を遂げている国保五所

瑞穗氏以下同町商工会員七 北海道八雲町産業課長小野

內

の電

話

は

電話 発行<del>就</del> 編集人 印刷所

(2月末現在) 男 23-546

詰観光地の木材払下げ問 最近また大きな話題

題 光

真

問 払

5

の地

相木

を材

0

観 問

市

民

0

投

書

函

かり、

らも大いに施設の強化をは

森、五所川原間の急行バス

え

れます

なおダイヤル式の区内は、

旧五所川原、

三好、

飯詰の三地区です

新らしい青森県の観光地と の全く無かつた五所川原に り、また喜びでもありまし、正はもちろん見逃しには出共市民の大きな誇りでもあ、願いとしては、甚だしい不いることは、何としても私 さつなのでしよう。私共の して飯詰がクローズアップ となつています。名所名物 年々観光客が増えてません、一体とういういき

理押

すれ

も少いものではないと思い Ŧī. 所 川原市に不正なし

いわゆる外貨の流れこむの て困難ではないでしょうし 客を吸収することも、さし

も、県内外から沢山の観光。を政争の具にすることは好

ましくありません。市長さ一子も見えない、博覧会開催

う努力をしているという様

要は財政措置

0

問

題

んのお答えを願います

(下平井町 M·T)

するという話もあつて、我

た事がありません、ただ自と考えております。私も農っておりません、ただ自と考えは三十三年度に実施したいま、私は常に言つておりま政上の措置が可能なら、或品有難いご意見と思つていま、規模の問題はあつても財

サテこれも梨のつぶてでさ 々農民も大いに期待したが の前に農業センターを設置

否しているのではない最に市の観光協会が、飯皓観、めており、職事録にも明確、空手形を乱発したからだ。 出来ており、農村地帯の施っておる積りで決して放言で、市は無意味にこれを担めります。昭和三十一年度、おいても市長から了解を求というと、言うまでもなくついては一応計画としては、確かにそれ以上のことをや約が出来ない理由は 協会に名儀を貸したことにた。これについては市会に、政党がなぜ信頼を失つたか。ご指摘のモデル田園都市に、なお公約については私は約が出来ない理由は、の問題の発端は市が観光の払下げを受けてやりまし、来る。従来日本の資本主義としての考えであります、「ら離れたことはありません」、開業医との間に国保契。この問題の発端は市が観光の払下げを受けてやりまし、来る。従来日本の資本主義としての考えであります、「ら離れたことはありません」 いが、これを行うについ。ないから払下げは出来ない。ていません。市としては市。まで行くと今の市長の時代にも不可能な状態にありま。ご了解いただけることと思う考えは現在でも変らな。協会は公法人として資格が、分については少しも関与し。には切れるという。このま。ことは、技術的にも財政的についてお調べ下さらば、 市としては開業医の皆さ「林署に木材の払下げを申請」かし市が関係したと言えば「市になつてから、もう四年初にも言つてるように、「光地整備資材として金木営」に記載されております、し これでは困る。五所川原が のは市民の増税という負し頼により、市の名儀でニロ将来青森県の大観光地としてうにない。 んと全部契約したいといしましたが営林署では観光とれだけの事で、材木の処になるし、市長の任期も秋けのものを一時に実施する思いませんが、種々の施設 四十四石の計六百六十四石。たいという考えで、これか。をやり遂げたと公言していにわたり四百二十石と二百。て全国的規模に持つて行き。外崎市長は公約以上のもの というので同協会からの依の為めになることであり、 行さえしなければ誰でも出

つて、一

だからおよそ六十万円と保税の収納実績は九○% この点だ現在市の年間の 千二百円となる、この国 万円で、一世帯当り約日 国保税調定額は一千六百

宮城県白石市職会議長太 上げた 員等五名は二月五日来五 委員、及び市厚生関係職 宰虎太郎氏以下厚生常任 院を視察、その利用状況 市立病院の国保診療及び 説明を受けた上、市立病 運営状況を視察した

写真は の視察団 ) 化のため起債した一千三れば、市立病院の施設強 償還の二百万円というも

立病院の診療科目は、総ということになると、市 方々と診療契約を結んだ|問 そのしわ寄せが具体的 勘定となる、ところが若 し仮りにここで開業医の 分だけ補わればならない いうものが歳入欠陥とな 般会計からこの

ういう事態になつたとす けている上、立地条件が 百万円の一カ年元利均等 らうと見ている、もしこ 者が現在の半分に減るだ の予想では市立病院の患 危険性がある、われわれ 開業医に喰われて仕舞う るため、相当数の患者が 合病院としてまだ相当欠 市内の中心から外れてい ば、市立病院の施設強 答 ということになる、そしのお医者さんに払へないければ診療契約した市内 の税金で補わねばならず一般会計即ち国保税以外 世帶当り四百万円の増税 になるから、この赤字を て市立病院の経営が不振 を二千六百円に増税しな 在の二千二百円の国保税 は必至である、つまり現 契約することによつて われるか 先づ一般開業医と診療

るのは避けられない

生まれる、だからこれが 立病院の経営上の危機が のが払えなくなる上、

それだけ又市民の負担が

般会計にしわ寄せされ 市

十分考慮の中に入つており

をよく理解され、了解し のお医者さん方もこの点 ない市民の皆さんも市内 る意志がないというので あるので、決して契約す 療契約が出来ない悩みが ら市内のお医者さんと診 重くなるという事になる問 市が現在こういう立場か 大きな負担をかけるからいてやるとすれば市民にいてやるとすれば市民にいるが市の財政 立前だし、市でもこれはを者さんとも診療契約することが国民健康保険のおいます。

行くことが必要と思う、率を高める方向へ持つて合病院として市民の利用設に力を入れ、完全な総

にどういう形となつて現

て頂たいと思うのである が増税一向に差支なし市<br/>
では、しかし市<br/>
では、<br/>
では、<br/> 民税の申告書 もらいたいという訳だね、時期が来るまで待つて 月 中に The 車なども置き 立地条件 者と病院を直結する輸送 機能を倍加するため、患

療契約が出来ないかの事なぜ市内の開業医との診

今までの話であらまし

んにも解ってもらえたよ

市民にもお医者さ

に計画を樹てて見ているの不利をカバーするよう

市 民税の申告は三

庁税務課又は支所へ提出して下 ら、必らず三月三十一日までに 昭和三十三年度市 三月上旬 養親族の控除を受けられ なおこの申告をしないとき に各家庭に配付します ませ

実現するかということだ 医との診療契約がいつ頃 のと思う残る問題は開業

処理以外の問題だから答

それはわれわれの事務

える用意はない

に、この公約の奥行は出来|す。農業センターの設置に|います。羊頭く肉など私の ついても決して忘却の彼方 最も忌み嫌うところであり はおりますが、何分これだ一つをここで挙げようとは へお答え 外崎市長) 答

へ押しやつたものでなく、

策もこの点に添つて進めてではありません、その一 精神科、泌尿器科等の増外、耳鼻咽喉科、皮膚科小児科産婦人科、外科の小児科産婦人科、外科の 認められるだらう

市民に対しても申訳ないしたり、施設の老化に委成院を崩壊の危機にさら 保直診病院としての市立に、しかし市としては国便を与えているのは事実

の市民に不満があるのは ものは十分でないし、

も市民の医療福祉とい

科目だけでは何といつて

つばりである。約束なら実くすというのが、私の人生の関心を持つており、常に

|分の資務に対して最善をつ|業問題については人並以上

観であり、また同時に市長| 農村振興については念頭か

一二十三年三月二日から一、縦覧期間 昭和三

供します によ

帳縦覧について固定資産課税台

全うするかを考えることが 市長として残る任期をどう

事に気を取られなくとも、 要すればあなたはそんな雑

一番大事であり、これが市

**外崎千代吉** 

示

という計画もありますので お五所川原市発展のため非 裂に頭を悩ましたり、次期運転の路線を復活させたい 念だと思つております。な 意次第で出来る。市会の分

|所川原間の急行パス| か増加している時に甚だ残、農業ヤンターは市長の決更らにまた過去に青 うな形になり、切角観光客| ても、これは全くの夢だがへいに施設の強化をは| 解決までは手が出せないよ| 大な資金量の問題から言つ

地元の方々や一般市民から|常な好意を示された金木営|市長の再選に全精力を傾け

お力添えを得たいと思林署の方々にも、いらざるたりしていることは既にあ

ご迷惑を及ぼした様でありなたのマイナスであること

申訳なく思つております

を考えてもらいたい。

(お答え 外崎市長)

の滞納があるところから現在なお一割余の国保税 は少々無理があると思う見れば、矢張り現段階で

I

知つていることです。

いろ~~あるのは子供でも水田には下田から上田まで

でも 手術の方法なのです。土地でも 良として絶対お勧めできる

区

画

理

は

な

ぜ

必

カコ

3 2

早植できるようになる

うしたらよいか?と とになると案外知られてい

いうこ

下田を上田に変えるにはど

の条件が悪いのに、

③ 排水不良を 地下水の排除が行われ を時に聞くが、表土の取 を時に聞くが、表土の取 を時に聞くが、表土の取 を呼に関くが、表土の取 を呼に関くが、表土の取 を呼に関くが、表土の取 ができる。。

、肥料設計、病虫悪いのに、保護苗

立場と既に実施した地帶の実績を勘案して次ぎに記して見よう

にあるのです。

こうも違う区画 理のあとさき

1

にしてみましょう。

地改良

とい手術です。特に

手術以外にありません。

土

堅苦しいようですが節条書のが囲動整理をやればこんなにも

6

9

石程度、平均し

米質

程度、平均して三斗増収…反当一斗から

も斗らよ位一

10

くなる。

手術の効果は偉大です。

X

⑤ 地温が上昇する…地下水の排除によって、土の中の空気の流通をよくしまた地温を上げる。地中に除験を供給して稲の根の活動を助ける。

|に立派になる|

(5)

(4)

水温を上昇させること

ができる。

黒く横わるは岩木川= まの五所川原附近=上に まの五所川原附近=上に E は整然とした南郡常

森県提供) ① 用水不足が緩和又は解することによって、用水不足が緩和又は地がいたし、まることによって、用水のむだがなくるため用水のむだがにし、まるて、用水のむだがなくるため用水のもだががなくるが、用水のもだが緩和又は解するに、用水で、用水で、水のもが緩和又は解する。 隠 田 は

7 L なの増 切 れ

な

た様水積 例で路の

御 労力の節約と機械力の導力の完備と正しい大きなの完備と正しい大きなので表すができる。又農田によって機械力の導力の節約と機械力の単位のである。又農田によって機械力の節約と機械力

な導な農 る入区道

務署だより

税務署からのお知らせ を申し上げます 時所得税の確定申告と が税の期限が迫つて参 2 1 いては 上率を示めされ

(田畑) が三十二年課税 (田畑) が三十二年課税 (田畑) が三十二年課税 (世界) 平均価格引上げ家屋についても若干の

対する人もあるようです。をおそれて、区画整理に反郷延びがはつきりすること

でしようね。

集区団画

化整

の理 絶は機

機地

です。

国土調査法という法

ケ所にも分散している

十五日まで 一月十五日から三月十五日まで 一月十五日から三月十五日から三月十五日から三月十五日から三月十

する時かすぐやつて来るのくても、縄延びのはつきり ところが、区画整理をしな

律で全国の農耕地を対象に

れておりますが、この測量一筆測量することが決めら

度平均三人位の労力節約に あと、反当一人から五人程 地を、少ない箇所にまとめ

画整理。

○最近備付けの します

吉川英治…新平家物語。 田 茂…回 [想十年。

よき天才なし 論語」

図書部 市公民館 便 0

『勉強する天才ほど

で水田面積が最も増えているのは一割増、最も減っているのは一割増、最も減っているのは七分三厘減で平均すると一分四厘四元が出った。ところが上減っている。筆者が実際に測定した例によれば、ために、実際の作付面積は増加する。筆者が実際に測定した例によれば、たちに、一分四厘四毛は十分補われて逆に一分五厘でした例によれば、たちに、一〇〇町歩から一切五反六畝)の増加となっている。 をみると、 整理前に えてべ がりてこの 0 し下さい 0 33 若 五 所 育 111 措 措 保 原 所

置

児

童

六

0

名

育

置

0

飯

詰し 0 町し 付

置 保 入

児

童

名

育園

柳

所

申

受

年度の資産価格 と認められる者です) 監護すべき児童の保育に欠けるところ 該当者は、労働又は疾病等の理由によ 更改

定資産台帳縦覧について

本るの結果、本市の評価額につる。 はよ度(三十二年、三十三年、三十三年、三十六年)に該当致します。 三十六年)に該当致します。 三十六年)に該当致します。 三十六年)に該当致します。 で、昨年までの評価額据 の労けです、このことについて に基きまして鋭意検討審議 の結果、本市の評価額につる。 者はもれなく縦覧されるこ とを切望します

り

本 人の共同書斉です、つとめ地 て読書子の御希望に添うよりですがあらせいぜい、御利用下さいたに図書閲覧規程ならびいたに図書閲覧規程ならびに新刊備付け近況を御知ら

です。固定資産税を適正にす 、場できるので市町村ではの 、場でも大いにに が過れたし、場でも大いにに が過れたし、場でも大いにに が過れたし、場でも大いにに が過れた。

日老人もあるようですが、それのです。先祖伝来の田を人

す」がとてもやり易くなる のときは集団換地と言いま

中です。あなたの町も、あ町、大舘村等では着々実施

なつて大悟一番が必要でし

と納税が必要です

五所川原税務署

測量をすることはまず確実 なたの村も近いうちにこの

よう。

くらしを楽に

とですからね。

又は土地改良区)がたった 敷を出すので、地元(市町村 大を出すので、地元(市町村 大 東 所に対して、国が三分の す

大変難しいのですが、区画伴わずに交換分合する事は

整理をやると交換分合(こ

す。ところが、

何の工事も

なる事は、

もう実験ずみで

となつております。

あいます。 お待ちしています。 取揃えて、皆様の御来館を は、農業、芸術等、多数 は、農業、芸術等、多数

年少女文学全集。

1 自 治 消 防 発 足 周

空急仏に 無火災 意

原

市町村自治消防発足以来三丁ので満十周年になる、「五所川原消防署の施設も」 都 市 建 年 東北六県新市中の最右翼に二度北六県新市中の最右翼に二 これは無火災都市の建設

だものといよう 消防ボンプ自動車 四合で消防ボンプ自動車 四合で 月現在の消防施設は

ではない

でその機動力は十年前の比 / (三0M3) 九カ所 貯水槽(B0M3)三八カ所 水道消火栓 二十八カ所

五十三カ所 大学によった大変発生件数 記も市街地の密集地帯や繁 税点 一世の比 三年には三十五件一千二十 四万円と件数で一倍余、損 強化されても意味がない、 四万円と件数で一倍余、損 強化されても意味がない、 で 無火災都市の建設を空念仏 で に まる。 で に と で に と で に と で に と で と 意識の下

火災の発生状 T. L

80 上生地、 、家屋、償却いづれに、の如く三十三年度は

報、陸奥新報、読書新聞、日新聞、海縄、河北新報、森興日 日新聞、遊経時事、報知日新聞、遊経時事、報知 ○閲覧室備付新聞

岡

騒ぎは まだ早い

いとごろ魚菜市場があ 心控えてもらいたい。

いろ

五

たしが困る事はわたしの

のざわめきが激しくなれ

用されたかは協会の方に のである。木材がどう使事業として行われている

ばなるほど、

それに反比

もかかり合いをわたしにばよかろう。何でもがでとくとお聞きいただけれ

多くなる。わたしはその 例してわたしへの激励が

一人を得ても嬉しさが余

仕事に邪魔されることで

岡騒ぎをするのだからた

だろう。

市

長

外

崎

千

代

古

日

本一 倖わせ男

0

あば

するのだが、

は何の関係もなく、完全あれは実は市役所自体に

完全

五所川原市観光協会の

まらな

で多少神経が野太く出

わたしは野育ち

いるから、

その辺の神

捨てる神あれば拾う

神あ

りという諺がある。世間

や 中百人までが好きだといき嫌いがあつて、百人の

ない。だから外崎が嫌い

だという人に無理矢理好きになつて呉れという押きになつて呉れという押し売りは、わたしには出ていたしは市民から選ばれた市長であり、市民のために仕事をするのがである。

に日本一

の倖せ者である

ある。だからわたしは常 ず涙さえ催して来るので 言葉で激励されると、こ るなヘコむなと投書やら るのに多数の人から負け

う言葉を使つたが、実ここで『野党攻勢』と

実は

気を病まず出たい人は市 長選なり代職士選なりに 勝手に出れば良いではな いか。あること無いこと

五 所川原市立養老 院

红 图 1951

> T 6

> > til

iR

腺

10 5 T

序でだから一応ここで断

二日56出ないも、セン何もわたしが次ぎの選挙

に出るも出ないも、

感である。

持つて来られては甚だ迷

では、

ts

ものを与えられない激職も殆と自分の時間という

BOT

とても身体が持て

として我慢出来るとしてあるが、まあこれはこれ

るからカンに障ることも

わつて置くが

| おたしは

任期が来たといつても満

ものからして、野党とか ものからして、野党とか でいまた自治体の組織その また自治体の組織その はない ものからものはない はない ものからして、野党とか

されることは真平である

(II)

457 457

8 0 HPR

老人の天国

CD 

П

了までにはまだ九ヶ月も

必要のない非難や中傷は

そのものが甚だ非市民的とすることに、その内容 とすることに、

ある。

わたしは最後まで

い。一部の為にせんがたくという決意に変りはなくという決意に変りはな

**〜き筈がないと思う。若** 

ではお預けということに

いうことに

ID F

踏堂 作双型

たしにも言わしても

いつれその中何とかわ

しあえてこれらの考

れえ若

して置いてもらいた

(二月十七日記)

である場合は兎も角とし

少くとも市民の福祉

めの策謀や中傷に座折す

すれば、市職会そのものばならない必要があると

るような

わたしではない

かったというのが実情で知が来たことさえ知らなりない。わたというのが実情であった。わたりは、実は任 はついこの間だと思つて はついこの間だと思つて 年有余の月日が流れて、 残る任期も僅かとなつて でである。全くこの三年 であるというもの夢の中に 、雑音から『成程そうか』何やら年の暮から新年に ぜわしい思いばかりが、 い事を、 いたら、いつの間にか三はついこの間だと思つてわたしが市長になつたの を既成事実として尾び わたしが全く考えていなきなものだらう、しかも た。さるにても世間とい と思つた位なものであつ 如きに作りあげて、 うものは何とまあ世話好 雑音から『成程そうか』 あたかも有るが 非難さるべき筋合いのも 努力することは、決して 実現するためにいろ 長い夢であつた、これをつたらというのは市民の はいい難い。 かりに、

幸を招く最大の要素となり、自治体は国家機構とはており、自治体に政治が介入することは自治の根本を危うくし、地域住民の不危うくし、地域住民の不 である。わたしは思う、用水堰の統廃合また然り が増進されるというもの物事が完成し市民の福祉 て呉れてこそ、はじめてを市民の大きな力で補つ て非難さるべきであろう ると…もし市に力足らざ 行動こそが非市民的とし るところがあれば、これ

多少のモタつきをいいがのではない筈だ、それが をつけて妨害しようとす る態度は紳士的なものと ちまざまな理由 むしろその という。わたしはどうし勢の飛道具になつている勢の飛道具になつているかのように拡大宣伝か、市政最大の汚職でも である。飯詰観光地の木 してや政治においてをやに現われて来ないし、ま スーは決して二という答 は世の中である。一プラそれにしてもままならぬ 解决して、第一期市長とわたしはこれを一つ一つ どう戸惑いして来たもの 材払下げ問題が、 しての使命を果したい。 ものだけでも五指に余る いのか不思議でならないのと取り上げねばならな てあれが不正だの汚職だ よくよくお調べ願えれ どこで

れている。 の公営企業化、 自衛隊の誘致、 倉庫の設置、農業センタ に欠かすことの出来な ーの実現等々市勢の伸展 まだまさ わたしに托さ が沢山ある 天然ガス 市営集荷 五所川原 もちろん市政に対しての現が最も妥当であるう。 インス は当然でした。 それは当然である。 市民の福利を重点としてのはければならない。それは市民のである。 市民の福利・増進に役立つようなものに対して不必要な反対行動に出ることは厳に慎まなければならないし、もしそ から、 表である限り、すべて一発言権は議員が市民の代 つ行動の自由を保つこと 様に与えられているのだ わたしは断呼として戦う だろう。 いう者があるとすれば 自由に発言し、

酒 の魚は 真ツぴら

期で十分だと考えている。土台わたしは常々 少々コッケイだと思つてれこれと騒ぎ廻るのは、なからわたしは世間がか 牛馬のように稼ぎまくつ てあれるこれも市のため 志の表示をした事はない か出ないかについての意 含めて次ぎの選挙に出る わたしは市長や代議士も

をつけ、

ああのこうの

ように不正であるの不当のに、晴天のへキレキので わたしも矢張り人間であ であるのとサシが入る、 漁川地区婦人団は二月八日 講堂新設陳情

世

0

中

は

お

せ

0

か

しても

5

おう

かい 表

同地小学校の講堂新設につ 市役所に外崎市長を訪れ、 午前高橋文治市議を先頭に E した

度に善処したいと答えたが いて陳情、市長は三十三年

もこれと前后して同様陳情同校PTA及び一般保護者

実したと同じことになるの

市民の皆さんもこの点を

さず一〇〇%の消防力を充

ということは、

とりもなお

儲け口の相談などに用心

全な無火災都市を現出する

ば激賞されているしかし完 動力で全消連からもしばし

(写真は婦人陳情団の)

情者 - 2 は - 2 は - 3 は -場合は、 業取引にしても、 堂々たる手口ですから のは陰をひそめて 断はなりませんだから 一分の隙もない 合は、相手の信用状態ート以外の取引を行

取引商品の実在な り態 の商油 

災難は 亙 に 防ぎ 合

1

人者氏

名統

8

801

なり

## 市立 養老院

木造平家建、九三三平方米 ta に営林局の払下げを受け、 q 近く着工 市立養老院は市立養老院は 懸案の五所川 の国有地は、 ル(一町五反 既歩」四影れい雪原 

増木横松 中杉杉岡 成成北成 佐蝦嘉北 太三山太 田村島川 元山山田田田川田 藤名山川 田ケ口田 キ キ テ ミ キ フュ田 男義ク利 リマルト ド忠ク イ明年チ リヤ良 治一ヱ昭 エチ子キ 稔り則エ ヨ子弘エ 子エ子博 • 毘 沙門

山白斎松 鳴中木其 其高小太 清相山木 山 工工 口取藤川 海元村田 田橋野田 野馬口村 口佐藤藤 俊 サ 藤ト 一忠秀利 忠ツ守 フーツつ ムツ利勝 恭菊モ正 地区 一 忠秀利 忠ツ守 フーツつ ムツ利勝 恭菊モ正 義英実春 雄ヨ夫慶 サ郎ヤよ チェ子則 一江エ哲

貸出を見合せることもあ 登出を見合せることもあ 不を は かに 返本していない方は ない向には 以後 理を守らない向には 以後 理を守らない向には 別在貸出を受けて 期日 流へ御願 い当さ

四

閲覽規程

① 十二月二十八日から ② 日曜日、国民の祝日 ③ 曝書期 毎年九月中 ・ 1日間

32

1

市民の負担上の面も考えて施設の不足を気力で補つており、消防署員の訓練にはおり、消防署員の訓練にはおり、消防署員の訓練にはおり、消防署員の訓練にはおいた。これが一旦有事の際五の力をれが一旦有事の際五の力を

至四月月三十日 自自自自 全年 年前 四九 四九 時時 時時

情報、画報文化生活、了字數學史、画報近世三百洋戦争史、画報近世三百洋戦争写真史、太平 ヒグラフ、 ○図書閲覧規程 画 [報千年史

〇写真帖類

ないという声もあるとか聞
市民の一部にはこれ以上消からに金を使つてもらいたく

消防の施設は幾ら強化して

日、大防意識徹底に協力していた。大防意識徹底に協力して

いの

とで、

厳密にいうと、

五所

一月は

詐

欺

0

書 入

れ

時

本質を知らない人がいうこ

いているが、これは消防の

下で、

この線まで達するに

数の横行するのもこのでは寒い季節に多いが、 おりの横行するのもこのでいる。 おりや置引きなどの犯

や置引きなどの犯

**を確認した上でなけ** 

のましようでなければ

規定している規準のはるか

原の消防施設は消防法に

はまだ相当の予算措置が必

要である。

現在われわれは

活節で、雪

雪に埋れたコタツ

儲生季詐罪

いう事にもなり

が行はずる年度でありますので、充分御注意の上関係ので、充分御注意の上関係ので、充分御注意の上関係ので、充分御注意の上関係ので、充分御注意の上関係ので、充分御注意の上関係 ○閲覧室備付雜誌

読書新聞

陸奥新報、

ものがあり、火災の発生状である

現

状

は

気

力

辺

倒

6

小

更

消

防

署

長

山平神

五〇

八五九九五九七〇六八八

一五二四

三〇九六円円

加藤郁之助

で行われ、消防長外崎市長の観閲を受け午前八時半から市役所を中心に新町通り五所川原消防署の出動式は冬晴れの九日

3

歩し、不良などに誘

わくされる機会をつ

ぎ、あき屋などにた

徒党を組んで、

むろするようになる

ことではありませんが

忠告できるようになる

つても、わが子同様に

よそさまの子どもであ

不良化から守るために

下岩崎(飯詰)俵元(七和)の両部落がい、終つて市公会堂で貯水槽設置協力の たのち、市内の各神社に無火災祈願を行

新町通りの分列行進して

生徒の生活からいつそ

(生徒生活指導連盟)の運動に参加下さい。

このようなことを児童

山谷

二、

四九六円

消

動 を

うになる。

两防

部 出

落

/旭

0

生 生 差 島 員町町町町

四五〇

市職会職員

長尾喜栄

長

橋

000

(長橋地区に交付)

五四

一六二円

大

町

、五、五、三、

二八五〇〇四天七〇

-==

神 吉太郎

きょ

一二〇七〇〇 三〇〇九〇〇 四〇〇八〇〇

下平井町

計係尾野田社事務即

00000額

ー 五九 ○ 版売枚数

三、五六二円一、三五三円円

木坂村本

重吉

柳新本末新幾柏鎌錦上平広宮島原谷 井町町町町町町町町町町町町町町 末新幾柏鎌 錦

四〇

〇四〇円

棟方

得

大沢福太郎

ひそかに感謝の涙を流して

ました、皆さんの温い志に

計

一〇五円

いる方もあることでしよう

(三十二年度才末残額) (三十二年度才末残額)

送つていただくことが出来

かながら樂しいお正月を

々にも、ささ 送つている人 不幸な生活を

消耗品(のし袋 紙いと) 川が北いとの円ではないないない。 一次ではいと)

② 支出の部

さんに、心からなるお礼を 一世帯につき動にご協力下さいました皆 ① 世 帶 割本広報紙上を通じてこの運 ●支給算定基準

一世帯につき

3

## F

是

北

委員

か

5

16

知

5

F

U そ か 1= 流 d 感 謝 0) 淚

ご報告申しあげますご協力したから、おわびかたがた 旧歳末助け合い運動の決算 計 七三七名

六五〇円

高橋菓子店、商工会議所 店、カメノヤ、神吉太郎 エピコ衣料品店、成栄支 岩長洋装店

皆さんありがと

の理解ある協 ① 収入の部助は、各方面 ⑥現 金 合 計動は、各方面 ⑥現 金 合 計

いただきました方々の氏名

春藤家具店、戸沼金物店とは、大大大学の大学品店、兵館履物店、川口靴店がのや洋品店、成栄本店がのや洋品店、成栄本店がのや洋品店、成栄本店がのや洋品店、高井商店、丸川要商店、高井商店、大大大学である。 山文具店、堀内家具店、平葛西薬店、鶴常書店、平 秋田建材店、丸大薬店、 野村酒店、三好庵支店、

虹川セトモノ店、岩喜商野呂勘助、若松屋商店、平山洋品店 宮川商店、三善呉服店、 キタ商店、山タ高橋商 ・ 又五呉服店、中三呉服店、丸キ呉服店、古二酒店、 、三善呉服店、

会にお出で下さい。

七五円

二〇三世帯 世帯員数四〇、

五三四名 五三四名 円

店、永沼洋子、古川洋品店、小関書店、川口亀十郎商店、小田川金物店、小田川金物店、小田川金物店、小田川金物のおり、一番のでは、一番ので

五

旧正歳末たすけあい

運動

結

入場券販売金額

(収益金)

(一枚に付二六円)

中谷鉄太郎 考

名部

別の配慮をしていただきま

笠原昭、寺田由美子、成藤善弘、佐々木通子、小藤善弘、佐々木通子、小藤善弘、佐々木通子、小 田悦子、 資格試驗合格者 太田 佐々木とも子 丸海老裕造

福管渋原井谷 西横渡村山辺 原 尾 善太郎 豊義哲久弘勝

田川 村上 高徳 田川 高徳 雄二 一戸 毅六 木尾小内崎山 鶴谷 阿部 山本清之助 大場 久造

自作農資金の貸付説明会

社会の片隅に

一、自作農で病気、災害、付ればならない様な豊家で定がが、農地の面積を増加しなければならない様な農家で定を確保をである。災害、 りますから希望農家は委員借入申込は常時受付けてお がありその借替をしなけ がありその借替をしなけ ない農家 農家の方は、次の事柄をお この貸付資金は長期で低利 資金借入れによつて、その 読みの上お申込み下さ 後の農家経営が安定出来る 小作地を取得する農家

談 開 地 相 所 0)

だれかに貸し付けようとす 五日、十四日、二十五日と 尋ね下さい、相談日は毎月 けてからにしましよう。 る場合にも、 けましよう、許可を得ない 第一項に該当違反行為にな なつています。 しいことは農地相談所にお 申請書を出して、許可を受 ります、また新たに田畑を 納めないと農地法第二十条 必ず期限内に納めて下さい それは無効です。小作料は で田畑を返してもらっても

ぞれの遊び場から帰宅

放送』を五所川原放声を求めるために『愛の

ついての積極的な協力 子どもの不良化防止に おとな(大人)たちに

かつまた地域の

することを建て前とす

このたび午後八時を合 生徒生活指導連盟では そうするため、市児童

ことになりました。 る帰宅運動を展開する

とになりました、市民

社を通じて開始するこ

のみなさんにはこの企

会を経て県知事の許可を受 かかわらず、必ず農業委員 小作契約書がある、ないに 田畑を貸している地主は小

お

めでとう

開くことになりましたから

しについての説明相談会を

自作農維持創設資金の貸出

で五所川原市農業委員会は

ぜひご参集下さい。

なりますが、しかし資金操

研究と努力が大きな要素と

原始農業から科学化への

り、返してもらうには田畑をあらたに貸した

作の工夫も重要です。そこ

平山勝則 村田 定日 野呂松五郎 正男 沢高田松 西 英文 治蔵勉 新岡 小笠原準 好 井

治 (計四一名) 成 田 積 放 田 積

●長橋:

金 光兼清 徳 裕俊雄光

石 片成伊須 岡田藤藤

(午后8時)

遊戯を深めていくよ た飲煙 りずし、 健康な から不 ること どなたでも『放送が ありましたら、どう してやつて下さい。 かえりなさい』と注意 つたから、もううち 遊んでいる児童生徒 後にも、まだちまたに 『愛の放送』の終つた

守 3 6 1) な ま

7 子 よ 供 老

長工杉小 村松土葛 石成長木 小松松中清土片和土石安尾藤野坂 上野岐西 岡田尾村 笠野野川野岐岡島岐岡田原 原 東 運一恒 芳 文正 幸 正行嘉黎一克健誠泰重枝浩宏雄 郎美功英 明喜勝一 治美雄則逸徳已一伍治義 不健康な夜の遊びを 石斎土佐 小土成須 須葛片工 工斎尾長秋秋石土成土佐 岡藤岐々 田岐田藤 藤西岡藤 藤藤崎尾田田岡岐田岐々 木 桐寿 ッ 菊京 い美や美 ツた美麗 ツ忠元義忠繁 義寿 芳ル英江子 つ子さ穂 ェこ子子 エ昭一雄雄光治範雄誠幹

一一成田 ○三好 郎郎 地 沢小 田野 八七名

フ明則光

長松進長 成今須土 寺片片今 尾野藤内 田 藤岐 田岡岡 ひ セつ か さセ洋照ッりハ 君つき秋 のッ子子 エのル静 江ゑぬ江 

中清横 斎土土長 太工秋横 川野島 藤岐岐尾 田藤田島 か で京京 ミ 満や 和つつ明 ゑ子子 ツ徹子ゑ 子子ゑ子 工間土成 藤山岐田 か 恭つ靖 子ゑ子恵

清藤川松 外外堀小 菊久野藤 藤秋松藤 奈笠藤小 上奈伝山 鰐渋高松 吉藤三吉 畠松田田 石笠笠笠藤森村本 崎崎内笠 地米口森 森田沢森 良井森笠 見良法形 田谷橋本 岡森浦岡 山沢中口 谷井井井 原 サ田トタ テテ 原 岡谷不 喜 不 原 岡谷不 喜 不 京則正春 末和キ浩 ツ和モエ 和京ルツ ヌゼキ節 悦ミ定二 悦十 春 二輝金 講昭宏俊 嘉武嘉成 中子一子雄 美子エ子 子校子子 子子エ子 エツミ子 子エ五夫 雄郎明雄 正夫一治 夫治毅失 男美上典 川郎

小小一青 成野小木 奈渡神畑 川乗川大 山高川野 高高木小 小開相渋 開小渡小野笠戸山 田呂野村 良辺 山 浪田浪川 谷橋浪呂 橋橋村野 林米間谷 米野辺野原 与ァむ ユーミトラ 照菊セ四キっト幸 信みキキ 秋ヒキみ シてルセ 京源弘キ 幸広富勝 哲竹福秀江江つ郎 エゑキ子 子ゑエサ 江サエセ エつエコ 子治和ヌ 子子江蔵 夫雄蔵一

伊中田長 三三三三 前前平前 和三中対 其前三三 長坂片秋 尾鳴鳴鳴勝村中尾 浦浦浦浦 田田川田 島浦谷馬 田田浦浦 峰本山庭 野海海海 ハ サ 五 美 俊 ひょ八 美 フ ツ文弘和 ツ幸清百 功智 美 孫一義亮 兵ろチ三 千キ賀ケ 静ミマ義 ヨ則子子 ヱ男美子 一子良津 市郎憲子 蔵ゑヱ郎 江ョ三イ 子エサ美 中岛,六八名引 其三和其 其松其菊 其浜加小 原大岩山 山和和野 中和山田 今木今中田上田田 田本田地 田舘藤野 久田中 口島田宮 谷島口中 村 谷 ミ 宮 宮 タ保ア 元 セ ボチ代サ 土典トシ 升満幸弘 イ昭キタ 五ノミ蔵 チ三恒俊 守イ久俊 美エ志ツ 雄子ショ 男栄子光 子儀ノミ 郎リホ宜 ヤ蔵雄雄 男子美雄 地区

送

社 カン

児童生徒の夜の遊びが は親の目 て、なはなれ 1 の下宿

てにご賛同のうえ、

参加下さるようお願い いたします。

毎夜放声

五所川原警察署ではパ 援助下さることになつ 巡回し、この運動にご トロールカーで市内を 「愛の放送」と同時に